



平成23年5月12日

会社名 株式会社ハークスレイ
 代表者名 代表取締役会長 青木 達也
 (コード番号：7561 東証・大証一部)
 問い合わせ先 専務取締役管理統括部長 佐子 弘和
 T E L 06(6376)8088

特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想の修正 及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成22年12月7日付にて、当社による「TRNコーポレーション株式会社との株式交換契約による完全子会社化に関するお知らせ」を公表いたしました。当該株式交換に伴う「負ののれん発生益」として特別利益を計上いたしました。また、平成23年4月28日付にて「連結子会社の特別損失の計上に関するお知らせ」を公表いたしました。当社の連結業績における特別損失として計上する概要および影響についてお知らせするとともに、これらの業績に与える影響が、平成22年11月11日付にて公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」の内容に修正が生じることとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の内容

平成22年12月7日締結の当社を親会社とし、TRNコーポレーション株式会社を完全子会社とする株式交換契約に基づき、平成23年2月28日付にてTRN株式を追加取得いたしました。当該株式の追加取得は少数株主との取引に該当し、追加取得した子会社株式に対応する持分を少数株主持分から減額しております。追加投資額との間に生じた差額について、「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、負ののれん発生益17億5百万円を特別利益に計上しております。その他に貸倒引当金戻入益27百万円、固定資産売却益61百万円など、特別利益として18億34百万円を計上しております。

2. 特別損失の内容

連結子会社であるTRNコーポレーション株式会社において、外食業界の節約志向、低価格志向を背景とした厳しい環境が当面継続するという判断のもと、完全子会社化を契機として、「例外なき事業構造改革」に着手することを決定し、オペレーション委託の推進・特化するとともに、不稼働資産の撲滅、資産の入替等の収益構造の改革にかかると事業構造改革損失10億41百万円、貸倒引当金の追加計上等1億14百万円を特別損失に計上しております。その他に投資有価証券評価損として3億20百万円、資産除去債務会計基準変更による特別損失1億22百万円など、特別損失として17億21百万円を計上しております。

3. 平成23年3月期通期業績予想の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回修正予想(A)	59,530	595	1,105	400	40.06
今回修正予想(B)	59,168	355	735	600	60.15
増減額(B-A)	△362	△240	△370	200	
増減率(%)	△0.6	△40.3	△33.5	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	66,059	43	93	△409	△41.00

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回修正予想 (A)	23,000	990	1,310	710	71.06
今回修正予想 (B)	23,147	454	695	184	18.46
増減額 (B-A)	147	△536	△615	△526	
増減率 (%)	0.6	△54.1	△46.9	△74.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	24,826	1,126	1,363	△515	△51.56

4. 修正が生じた理由

デフレ状況、先行き不透明感等により消費マインドが萎縮する中、店舗委託事業における業務委託先の収益にも大きな影響を与えることとなり、業務委託先との中途契約解除が増え、新たな業務委託先との契約を締結するまでの家賃負担等の費用が増加することとなりました。また、「2. 特別損失の内容」に記載しておりますとおり、「例外なき事業構造改革」に着手し、事業構造改革損失 10 億 41 百万円、貸倒引当金の追加計上等 1 億 14 百万円等を特別損失に計上したこと及び平成 22 年 12 月 7 日締結の株式交換契約による TRN コーポレーション株式会社の完全子会社化に伴う、負ののれん発生益 17 億 5 百万円を特別利益に計上したことにより、通期連結業績の営業利益、経常利益、当期純利益について前回予想を修正いたします。

通期個別業績については、より保守的な評価による会計処理を行っており、この度、保有する関係会社株式等について 5 億 73 百万円の貸倒引当金の設定を行ったことから、営業利益、経常利益、当期純利益それぞれについて前回予想を修正いたします。

5. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成 22 年 11 月 11 日発表)		円 銭 6.00	円 銭 12.00
今回修正		12.00	18.00
当期実績	6.00		
前期 (平成 22 年 3 月期) 実績	20.00	20.00	40.00

修正の理由

配当金につきましては、連結配当性向 30%をメルクマールとしており、連結業績予想の実績との差異に伴い、配当予想を修正するものであります。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上